

環境に配慮したイベントの開催にご協力ください

2018年夏、鎌倉の海岸にくじらの赤ちゃんが打ち上げられたことをきっかけに、鎌倉市は「かまくらプラごみゼロ宣言」を発表しました。この宣言に基づき、プラスチックごみの排出抑制を含む、環境に配慮したイベントの開催にご協力ください。

1. 来場者への案内

チラシやポスターなどの案内で、次のことを呼びかける。

- (1) マイ皿・マイ箸・マイカップ・マイ容器（密閉容器など）・マイボトル・マイバッグなどの持参。
- (2) 来場は、二酸化炭素の排出量削減のために、公共交通機関を効率的に利用。

2. 飲食の提供方法

- (1) **リユース食器を利用するなど、使い捨てプラスチック容器の排出抑制に努める。**
飲食の提供は、次の(A)～(C)の方法などをお願いします。

- (A) 主催者側がリユース食器の皿、コップ、箸などを用意する。リユース食器を100個以上利用する場合、利用費の2分の1（上限5万円）を補助する制度があります。
※補助制度の詳細は、鎌倉市HPのトップページから [リユース食器 補助](#) [検索](#) でご覧いただけます。
- (B) 利用者にマイ皿、マイ箸、マイカップ、マイボトルを持参してもらい飲食を提供する。提供する際に、量りを用意して、提供する量を計量すると提供しやすくなります。また、容器持参の方には「～円引き」「～をサービス」などインセンティブを設ける方法もあります。
- (C) 食べられる食器を使って提供する。
ごみ減量対策課に見本があります。



食べられる食器の一例



リユース食器

- (2) **食品ロスを減らす工夫をする。**

●売り切り●

仕入れ数量は、イベント終了前に売り切れる量にする。

●食べ切り●

誰でも食べ切ることができるよう、小盛りの提供も行う。

●使い切り●

材料は捨てる部分が少ないものを選ぶ、調理の際に皮などを厚くむかないなど、ごみを出さない工夫をする。

3. 物販など

来場者にマイバッグを持参してもらい、レジ袋、ビニール袋の提供を極力控える。

4. 会場・運営

- (1) ごみ箱を設置する場合、分別を徹底する。
- (2) イベント会場や周辺の清掃を行い、会場の美化に努める。